

全国各地、違いがあるから面白い！  
違いが土地柄を作ってます。そんな違いを楽しんでみて下さい！  
「知らなかった！」「えっ！そうなの」と、甲府へ移住してきたら  
びっくりするかもしれないことをいくつかピックアップしてみました！  
甲府で暮らすことになる人に知っておいてほしいことです。

# 知ってて！ 甲府のこと

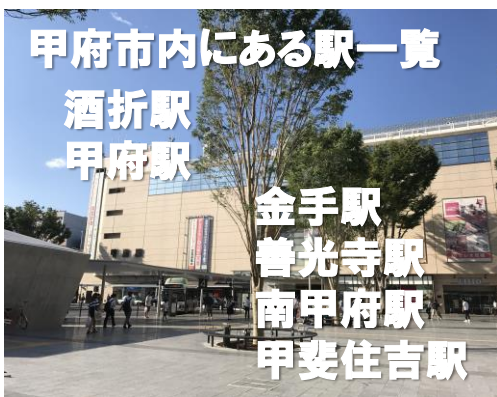
当たり前が  
違う!!



- ★駅前！中心！ってどこ？
- ★東西南北、方位のこと
- ★立ったままのお葬式！
- ★甲州弁まちがちよし！
- ★まちなかにある銭湯
- ★人との距離がとれる車移動
- ★ガス・下水道・テレビ、自治会

## ★甲府で駅前、中心と呼ばれる場所

甲府は山梨県の県庁所在地で山梨の政治や経済の中心です。武田家が甲斐の国を統一した500年前からここが「甲斐の府中」です。



市内には6駅ありますが「駅前」と会話に出てきたら「甲府駅前」を指しています。駅前の南口、北口の広場でイベントを開催することが多いので、甲府に住んだら駅前に来るが多くなるかもしれません。他にも甲府で、「中心」と呼ばれてる場所があります。

中心市街地の丸の内1丁目、中央1丁目と2丁目あたりのことです。中心には官公庁から企業のオフィス、デパート、夜のお店までバラエティあります！500年前からここが中心ってすごいですよね！！

# ★野生の勘？いえいえ目印ありますよ！

「お店を出て南に」「ビルの北側」と、甲府では場所を説明するとき方位で表現することがあります。それは、なぜか？大きな目印「山」が見えるからです！南に日本一の山、富士山、西に日本2位3位の標高を誇る南アルプス連峰、北に八ヶ岳連峰を仰ぎ見ることができる山の都甲府。高い建物も少ないので太陽の位置や、山の位置で大体の方位かわかるようになりますね！野生の勘も研ぎ澄まされてくるかもしれませんよ!?



和田町から甲府盆地と富士山



高い建物が少ないのでよく見えます



右左口町から甲府盆地と八ヶ岳



甲府市役所（丸の内）から南アルプス

## ★立ったままの通夜・告別式

宗教、宗派によって違いますが甲府の葬儀はすぐ終わります。一般弔問客は列に並びお香典を渡したらお焼香するだけです。

着座、通夜ぶるまいは一般弔問客はなく、立ったまま流れるように終わります。告別式後の初七日の会食は親族と親しい間柄の喪主に呼ばれた人だけが参加します。故人との対面のお別れは葬儀開催前にご自宅等に弔問します。葬儀の途中では故人の顔を見ることはできません。甲府市内、山梨県内でも農村部などは地域によって違います。



# ★強くて、柔らかくて、面白い！？

山梨県民の方言は甲州弁。語気が強かったり、ふにゃふにゃしていたり、喋り方でニュアンスを変える面白い方言です。様々な単語がありますが、意味を間違えやすく、注意が必要なのは語尾。標準語とそれほど違いはない文章でも絶妙に意味が違ふことがあるんです！語尾さえつければ甲州弁っぽい感じになりますよ！

## ちよ が語尾についたら、ご用心！

甲州弁

正解

不正解

「やっちょ」 「やっちゃだめ」 「やっちゃえ」  
「捨てちょ」 「捨てちゃだめ」 「捨てちゃえ」

甲州弁ネイティブでない人が間違えやすいのが語尾「ちよ」。動詞+「ちよ」は否定の命令文です！「ゴミをここに捨てちょ」と言われてはりきって捨てたら怒られます。捨ててはだめです。「し」をつけて「捨てちょし」と言うと、柔らかい印象になって「捨ててはだめなんだよ♪」みたいな感じですよ。

## ★語尾にちよいとつけば甲州弁！

単語を覚えられなくても、これを知っていると便利

例「移住する」の活用形

じゃん 「移住するじゃん」 移住しようよ！  
お誘い感満載 Let's 的

ずら 「移住するずら」 移住するよね!?!と  
念押ししている感じと、疑問形の2通り

け 「移住するけ？」 移住してみる？前向き感  
「移住するだけ？」 移住するの？という疑問形

ら 「移住するら？」 移住するよね？という  
やわらかい疑問形 Don't you? 的

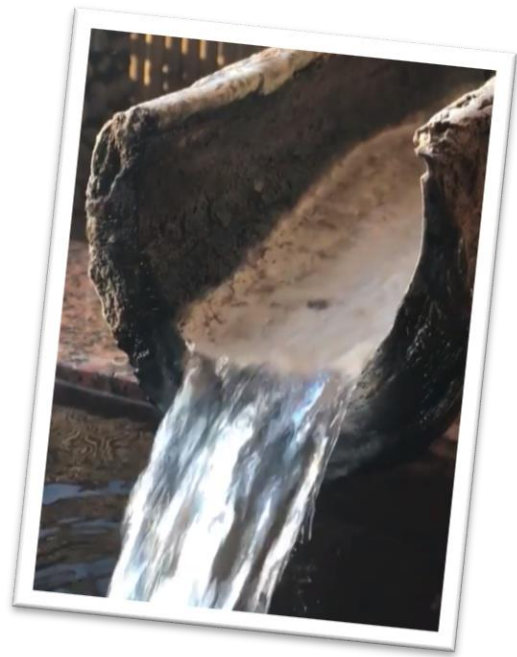
し 「移住しろし」 移住しなよ！と柔らかく同意を  
求める感。「ちよ」と合体形「ちよし」も

さ 「移住するさ」 移住するよ！とやわらかい  
強調感。移住することになったよ！的



# ★銭湯も温泉！お気に入り見つけて！

甲府市内にある銭湯は温泉です。特別に有名な温泉地ではないけれど、まちなかに何気なくある銭湯が温泉って幸せです。ちょっと出かけた先にある温泉に入るために車のなかにお風呂セットを入れておく人もいます。立ち寄りの湯を受け入れているホテル・旅館もあるので、温泉巡りをする楽しみがあります。夕方に行くと地元の人達がたくさん来て情報交換の場にもなっていますし、朝風呂をしている銭湯もあります。



## ★車はあると便利です

「え！もう電車来たの？」と山梨の人は初めて都会に行ってしまうんです。だって、そんなに頻繁に電車もバスもここでは来ませんから！地方暮らしは公共交通は補助的で車移動が多いです。甲府の場合、夏の暑さ、冬の寒さがあるので、車移動だと夏は涼しく、冬は温かいです。またお店など目的地が離れているから、車でパッとドアtoドアで移動します。それが地方暮らしの実情です。

バスは甲府駅から県内各地へ放射線状に路線が伸びています。運転免許がない！運転が怖いという方はまずはバスの路線を確認することが大切です。甲府駅周辺がバス暮らしの方は便利かもしれません。

買い物の荷物を持って電車移動は大変ですが、車で移動はその点が楽になったと話す移住者の方がいます。混雑なしでパーソナルスペースの確保ができますね。



# ★地方だからかかる？生活のこと！

## ガスの値段が違う!?

都市ガスとプロパンガスの地域があります。都市ガスの地域でも建物によっては、プロパンガスを使用している集合住宅もあります。都市ガスとプロパンガスの値段が違いますし、プロパンガスも契約する販売店で値段が違います。ちなみに、憧れの薪ストーブも、薪代はかかりますよ。地方暮らしならではの光熱費がかかることも忘れずに！

## 交換？お金かかる???

甲府市は下水道普及率は96.05% 更に整備を進めています。市街地に住むほとんどの人はあまり関係ないかとは思いますが、一部 農村部（元も含む）や郊外は浄化槽での生活になります。浄化槽は定期的なメンテナンスが必要です。浄化槽は寿命があり交換しなくてはなりません。購入補助金もあります（一部除外区域あり）。自然災害等の発生で下水道の利用ができなくなった時、浄化槽として単体で存在しているほうが、利用制限がないので便利という声もありますから、どちらがいいかは考え次第。

## テレビを観るのに!

高い山に囲まれている山梨はテレビを観るのにお金がかかります。基本的にNHKと地元放送局のYBS、UTYの3局のテレビ局で構成されていてそれ以外の民放各社をご覧になりたい場合はケーブルテレビ等の契約が必要です。集合住宅や賃貸の場合は大家さんが支払っていて個人には掛からない場合もあります。

## 自助7割 共助2割 公助1割

甲府には516の自治会とそれをまとめる31の自治会連合会があります。自治会は住民が自主的に形成し運営している任意の団体で加入は強制ではありません。防災・防犯、ごみ収集など地域に密着した個人で解決する事が難しい課題を地域で解決します。震災や洪水など災害の時は「遠くの親戚より近くの他人」ですし、助け合うことになりますから、いざという時のために入会はお勧めします。自治会ごとに自治会費は違いますが、500円から1000円（月）くらいが主流で、徴収も自治会ごとです。



# 甲府ってどんな場所？

## 細長くて地形の変化に富む甲府



地図で見ると山梨県の真ん中にすうっと線を描いたように細長く位置する甲府市。縦（南北）は41.5km、横幅（東西）は15.3km、面積は212.41km<sup>2</sup>です。移動していると、気づいたら隣の市町に入っている感じのこじんまりとした大きさです。

山と盆地の部分がくっきりと分かれています。「甲府盆地」として有名ですが、甲府市が甲府盆地に占める面積の割合はそれほど大きくありません。最北部は秩父山地、南部は曾根丘陵と御坂山地の山がそびえています。



甲府で一番標高の高いところは2599mの金峰山山頂です。

山頂には五丈岩と呼ばれる高さ15mの巨石が鎮座しています。富士山をその先に見る姿は神々しいばかりです。





山からまちまである甲府の最も低いところは標高250mです。甲府駅にほど近い甲府市役所は標高261mに位置しています。参考までに東京都庁は標高37mです。同じフラットな場所でも気温や天気が違うのはそもそもの標高が違うからです。だって200mも太陽に近いんですから！



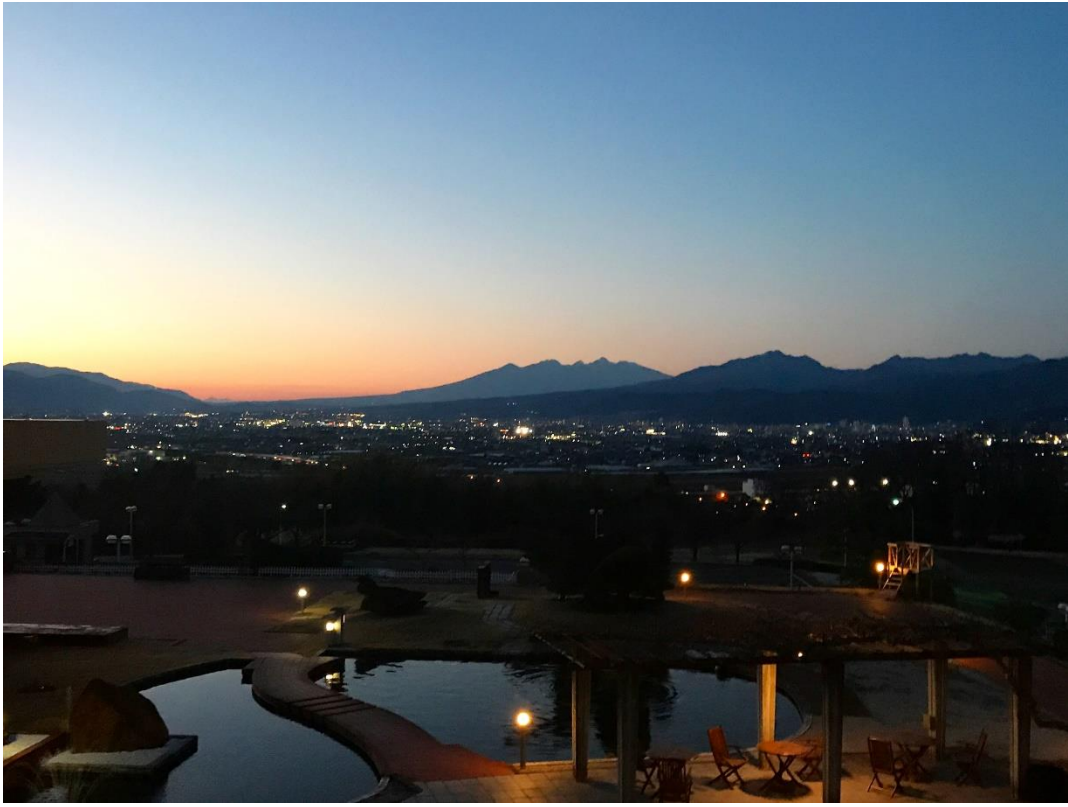
## 酷暑と底冷えする冬の寒さ



盆地特有の猛烈な暑さで夏は日差しがとっても強いです。特に盆地の平地部では照りつける太陽を肌で実感します。周りを山に囲まれていて森林が多いので夏でも昼夜の温度差があります。標高が高いエリアの朝晩は夏でもひんやりです。冬はぐっと冷え込みます。晴れの日が多く積雪は少ないです。空気が綺麗で山の輪郭がくっきりみえます。冬型の気圧配置が強まった時は北西の季節風が吹き、空気が乾燥します。「ハケ岳おろし」と呼ばれる冷たい強風が吹く日があります。ハケ岳から吹き下ろした強い風は北杜市、韮崎市、甲斐市を吹き抜け甲府まで届きます。



風が吹く日は自転車や歩くのも大変です。田畑がある場所は土埃が立つようなこともあるそうです。甲府の北部、



東部、中央部などではハケ岳おろしを感じることは少ないですが西側は感じる事が多いです。そんな風が吹いた日はとってもきれいな南アルプス山脈の稜線が見れます。

## 天気も植生も違う変化に富む甲府



山は雪が降っていてもまちなかは雨。雨さえ降らない時もあるくらい、小さな甲府市のなかでもお天気が違います。標高によって天気も自然の植生も、ライフスタイルも違いますから見える景色の違いがあります。それが甲府のバラエティ豊かな自然・生活環境を作っています。写真は甲府の最北端のまち黒平町。標高は1000m。車の往来が少ない場所です。ここは盆地より一か月くらい遅れて春がきます。そして夏はとっても涼しいです。





山からまちまである甲府。そこを取り囲む自然環境。暑さ寒さも、風も、照り付ける太陽も、昼夜の寒暖差も、野菜や果物の甘さなど、おいしい実りにつながってきて豊かな景色を我々に見せてくれるのです。

自然から多くの恩恵を受ける山の都甲府

